

水道を^{ひろ}広げる^{どりよく}努力, 80年

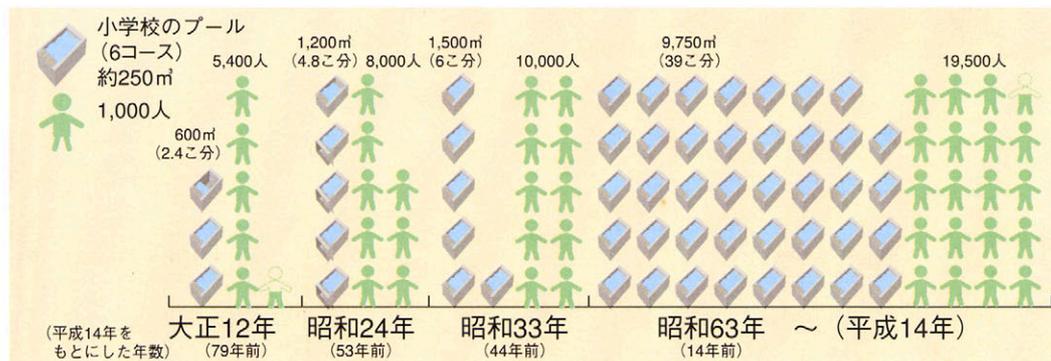
わたしたちが生活するうえで、水はなくてはならないものです。

わたしたちの町の水道は、今から約80年ほど前に作られ始めました。福島県では、^{こおりやま}郡山市について2番目に早くできました。このように早くできたわけは、地下水がひじょうに悪かったからです。町では^{けいかく}計画的に水道を^{ひろ}広げる^{どりよく}努力をしてきました。その^けっか、今では、ほとんどの地区に水道がひかれるようになりました。

水を多く使う生活

今から30年以上前までは、^{しょくじ}食事を作るための水や^{のみず}飲み水が中心でしたが、少しずつ生活のしかたがかわり、たくさんの水を使うようになってきました。ほとんどの家で「せんたく^き機」を使ったせんたくをするようになり、学校や^{やくば}役場、^{こうじょう}工場、^{しょうてん}商店、そして家庭でも「^{かてい}すいせんトイレ」になってきました。^{しょうぼうようすい}消防用水も町を守る大切な水です。いつでも、すぐに使えるようにしておかなくてはならないものです。

《水道のあゆみ～1日最大給水量と給水人口》



<むかしと今～せんたくとトイレ>

